

原子力艦 スクラントン 入港前の放射能調査結果

令和2年12月10日
放射線環境対策室

米国原子力艦 スクラントン の金武中城港入港前の放射能調査結果は次のとおりである。

1. モニタリングボートによる放射線の測定結果

(1) 使用ボート	かつれん
(2) 調査コース	入港前調査コース
(3) 調査日時	令和 2年12月9日 11:38 ~ 13:05
(4) 調査結果	空間 5 ~ 8 nGy/h 海水 14 ~ 18 cps

2. モニタリングポストによる放射線の測定結果

	測定結果	参考値(非寄港時)
(1) 調査期間	自 令和 2年12月 8日 15:00 至 令和 2年12月 9日 15:00	自 令和 2年 2月23日 12:00 至 令和 2年12月 8日 15:00
調査結果	(2) 海軍棧橋(1号)局	空間 ^{※1} 14 ~ 51 nGy/h 空間 ^{※2} 12 ~ 49 nGy/h 海水 ^{※1} 8 ~ 32 cps 海水 ^{※2} 4 ~ 6 cps
	No. 1	海水 ^{※2} 7 ~ 9 cps
	No. 2	海水 ^{※1} 7 ~ 14 cps 海水 ^{※2} 5 ~ 7 cps
	陸軍棧橋(2号)局	空間 ^{※3} 11 ~ 46 nGy/h 空間 ^{※4} 9 ~ 26 nGy/h 海水 ^{※3} 7 ~ 25 cps 海水 ^{※4} 3 ~ 6 cps
	公民館 (3号)局	空間 21 ~ 34 nGy/h
	対策本部(4号)局	空間 20 ~ 35 nGy/h
		空間 19 ~ 41 nGy/h
		空間 18 ~ 45 nGy/h

3. 天 候 雨

4. 備 考

※1 令和2年5月28日までの測定結果である。

※2 海軍棧橋 (1号) 局モニタリングポスト工事のため、令和2年5月28日から、
空間は可搬型モニタリングポストを、海水はサーベイメータを用いて測定した結果である。

※3 令和2年10月19日までの測定結果である。

※4 陸軍棧橋 (2号) 局モニタリングポスト工事のため、令和2年10月20日から、
空間は可搬型モニタリングポストを、海水はサーベイメータを用いて測定した結果である。

本調査結果に関する問合せ先：原子力規制庁監視情報課放射線環境対策室
電話：03-5114-2126 問合せ時間：平日10時～12時、13時～18時

原子力艦 スクラントン 入出港日の放射能調査結果

令和2年12月10日
放射線環境対策室

米国原子力艦 スクラントン の金武中城港入出港日の放射能調査結果は次のとおりである。

1. モニタリングボートによる放射線の測定結果

(1) 使用ボート	かつれん
(2) 調査コース	入港時調査コース及び出港時調査コース
(3) 調査日時	令和 2年12月10日 09:06 ~ 13:37
(4) 調査結果	空間 3 ~ 9 nGy/h 海水 14 ~ 20 cps

2. モニタリングポストによる放射線の測定結果

		測定結果	備考
(1) 調査期間		自 令和 2年12月 9日 15:00 至 令和 2年12月10日 13:00	備考
調査結果	海軍棧橋(1号)局	空間 [※] 22 ~ 35 nGy/h	
	No.1	海水 [※] 6 ~ 8 cps	
	No.2	海水 [※] 4 ~ 7 cps	
	陸軍棧橋(2号)局	空間 [※] 9 ~ 24 nGy/h	
		海水 [※] 4 ~ 7 cps	
	公民館 (3号)局	空間 20 ~ 31 nGy/h	
	対策本部(4号)局	空間 20 ~ 33 nGy/h	

3. 天 候 雨

4. 備 考

(1) 米国原子力艦 スクラントンは、令和2年12月10日(木)9時54分、ホワイトビーチ海軍棧橋先端から200度2037mの地点に入港し、同日11時47分に出港した。

(2) 測定結果は、令和2年12月9日(水)に実施した入港前調査の測定値と同一レベルである。

※ 海軍棧橋(1号)局および陸軍棧橋(2号)局はモニタリングポスト工事のため、空間は可搬型モニタリングポストを、海水はサーベイメータを用いて測定した結果である。

本調査結果に関する問合せ先：原子力規制庁監視情報課放射線環境対策室
電話：03-5114-2126 問合せ時間：平日10時~12時、13時~18時